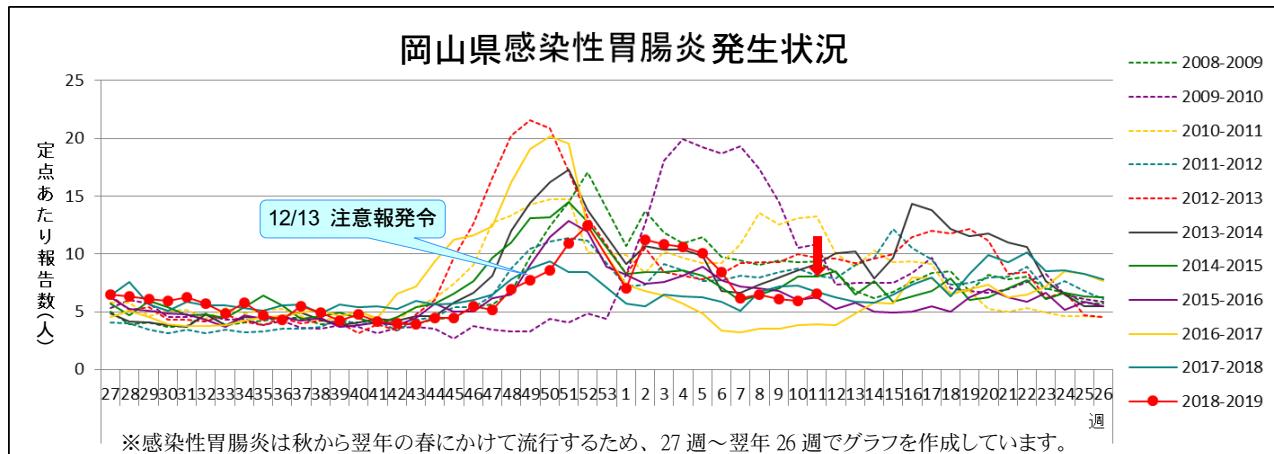


感染性胃腸炎週報 2019年 第11週（3月11日～3月17日）

岡山県は『食中毒（ノロウイルス）注意報』発令中です

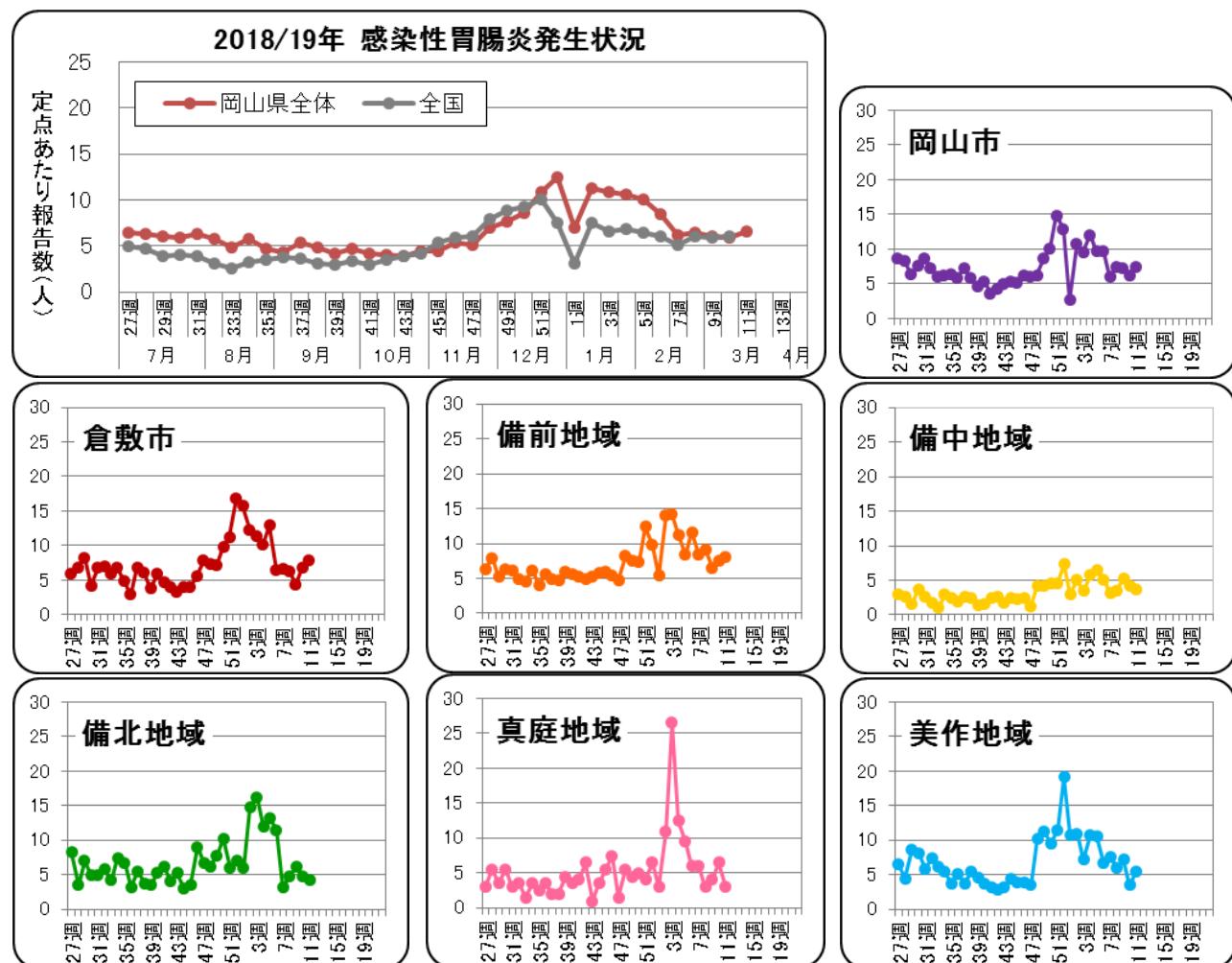
➤ 岡山県の流行状況

- 感染性胃腸炎は、県全体で354名（定点あたり6.56人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。

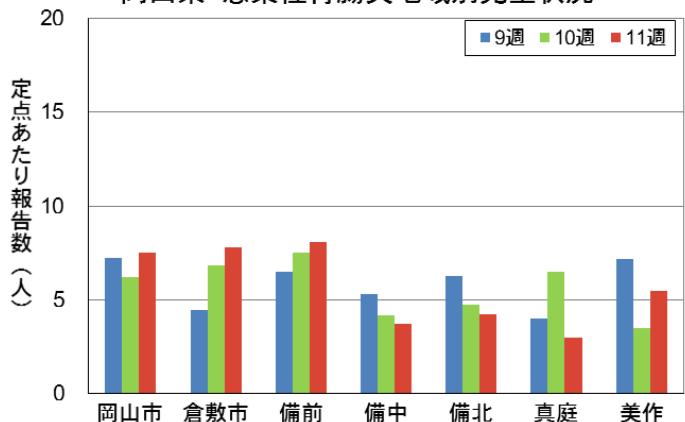


感染性胃腸炎は、県全体で354名（定点あたり5.91→6.56人）の報告があり、前週からわずかに増加しました。冬から春にかけての感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

◆地域別・年齢別発生状況



岡山県 感染性胃腸炎地域別発生状況



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2019年11調

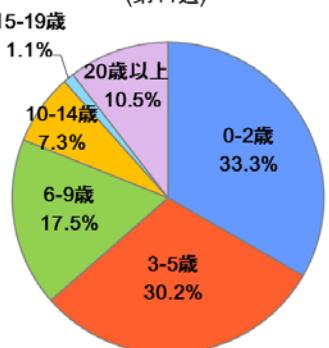


全県 レベル1

レベル3	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値
20	12	0<20未満
		0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

感染性胃腸炎 年齢別割合 (第11週)



小児科定点（54 定点医療機関）からの報告によると、2019年第11週報告の年齢別割合は、0-2歳 33.3%、3-5歳 30.2%、6-9歳 17.5%の順に多く報告されています。例年3~5月には、2歳以下の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎が増加するとしています。主な症状はおう吐と下痢で、ノロウイルスによる胃腸炎に比べ重症度が高いとされています。おう吐や下痢により脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

[ロタウイルスに関するQ&A（厚生労働省）](#)

◆◆ 感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

<予防方法>

- 最も大切なことは、手を洗うことです。
排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。
おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、おう吐物をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。
- おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、85℃で1分間以上の熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム**（※家庭用塩素系漂白剤でも代用可）での消毒が有効です。
おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。
- 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85~90℃で90秒間以上）
二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかりと加熱すれば安心です。



© 岡山県「ももっち」

※塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。

[○ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）](#)

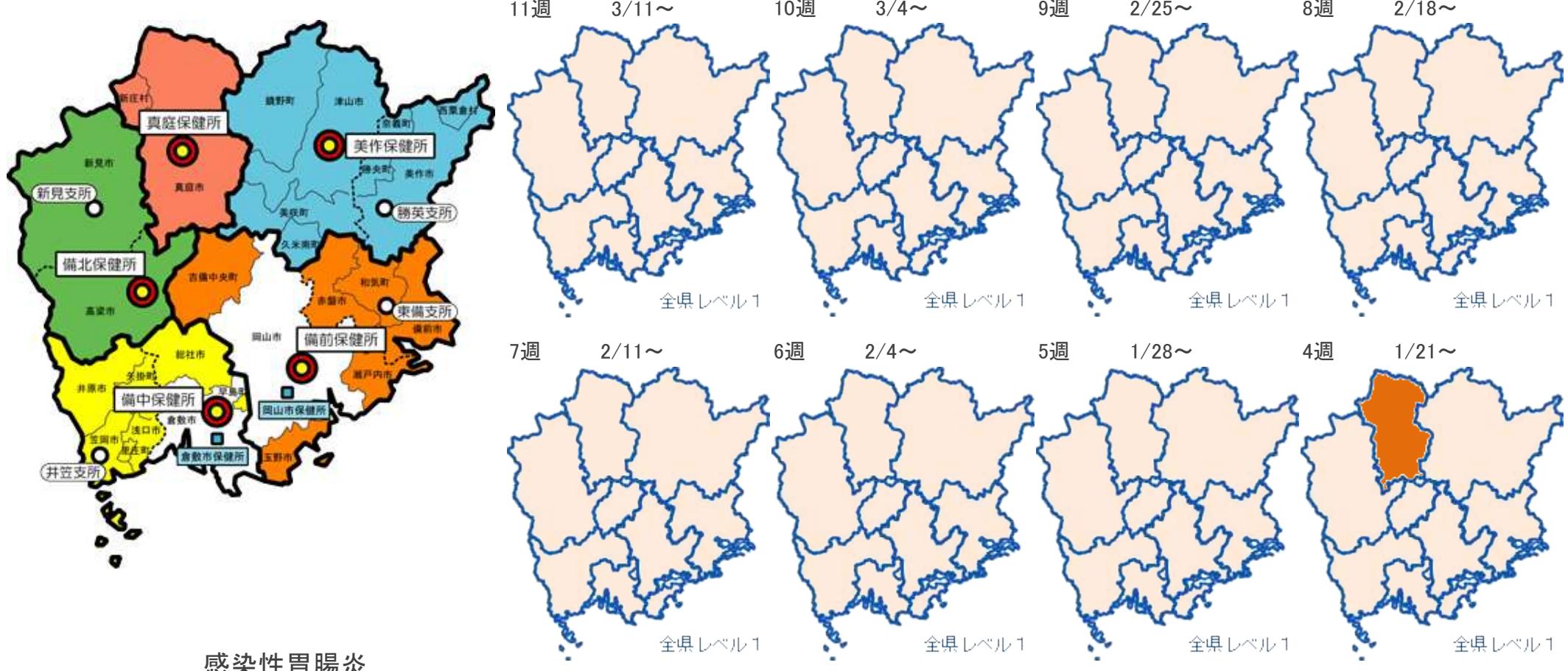
[○ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所）](#)



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2019年 11週

2019年3月20日

8:16:46



レベル3

開始基準値

20

レベル2

終息基準値

12

レベル1

基準値

0 <
20 未満

基準値

0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないと
レベル3が継続されます。